

産業技術総合研究所 平成 27 年度 研究評価委員会（地質調査総合センター）
議事要旨

1. 日時：平成 28 年 3 月 29 日（火）10:00～17:30

2. 場所：産業技術総合研究所 つくばセンター 中央第 7 事業所 第 2 会議室

3. 議事

- (1) 開会挨拶
- (2) 委員紹介・資料説明
- (3) 領域による説明（質疑含む）（議事進行：田中 和広 評価委員長）
- (4) 総合討論・評価委員討議・講評（議事進行：田中 和広 評価委員長）
- (5) 閉会挨拶

4. 議事概要

(1) 地質調査総合センターによる説明と質疑応答

資料 4～6 に基づき地質調査総合センターが以下の各項を順次説明し、それぞれ質疑があった。まず、地質調査総合センター全体の概要・戦略について、組織・人員・研究の概要が説明された。次いで研究開発の概要について、地質調査のナショナルセンターとしての地質情報の整備、レジリエントな社会基盤の構築に資する地質の評価、地圏の資源と環境に関する評価と技術の開発、地質情報の管理と社会利用促進の 4 項目が説明された。

「橋渡し」のための研究開発では、「橋渡し」につながる基礎研究（目的基礎研究）、「橋渡し」研究前期における研究開発、「橋渡し」研究後期における研究開発の 3 区分で説明があり、主に地圏の資源と環境に関する評価と技術の開発に関する研究例と成果が説明された。地質調査の知的基盤の整備については、完成まで数十年かかるプロジェクトの方針に関する質疑があったほか、知的基盤整備全体の枠組みや構想の説明が要望された。

「橋渡し」のための関連業務については、評価委員より、評定の件数に比べ説明資料・時間が少ないので分析などの充実をとの要望があった。

(2) 総合討論

地質調査総合センターによる説明全般について質疑応答が行われた。外部資金獲得の状況と方策、企業との共同の上で留意すべき点、個々の研究者の意識醸成などについて、評価委員から質問・助言があった。

(3) 評価委員討議

今回の評価に関して評価委員による討議が行われた。

(4) 講評

評価委員長より、地質調査総合センターに対する講評が行われた。

5. 評価委員（敬称略、順不同）

田中 和広	山口大学 理事／副学長（評価委員長）
香村 一夫	早稲田大学 理工学術院創造理工学研究科 教授
末廣 潔	海洋研究開発機構 海洋地球生命史研究分野 上席研究員
田村 圭子	新潟大学 危機管理本部危機管理室 教授
森脇 久光	元 双日株式会社 エネルギー・金属部門 資源アドバイザー

6. 配布資料

資料 1：議事次第

資料 2：出席予定者

資料 3：座席表

資料 4：評価資料（その 1）主要な経年データ

資料 5：評価資料（その 2）主な業務実績等

資料 6：評価資料（その 3）説明資料

別添資料 1：平成 27 年度計画（抜粋）

別添資料 2：評価項目及び評価方法

別添資料 3：産総研評価情報システム利用ガイド（評価委員のみ）

別添資料 4：評価コメント記入用紙（評価委員のみ）